

本書は、横浜市を中心にした活動している、障害のあるなしにかかわらず、母の生き方を考える会「マザーズ・ジャケッツ」の呼びかけに応じて集まった原稿を元に編集された一冊です。表紙にもあるとおり、「本当にあったみんなに聴いてほしい話」が詰まっています。

第1部はタイトルを拾ってみると「仁義なき戦い 思春期編」「穴があったら詰め込みたい」「弟は弟でしかない」などといった家族ならではの体験記集です。ここからは「大変だけじゃないよ」というメッセー
ジがお母さんや兄弟姉妹の視点から語られています。
第2部では障害のある子どもの子育てに気込み、疑問や混乱を経てたどり着いた境地のようなものが見えてきます。

第3部にはいると、地域の中で

多くの人に助けられて生活しているようすが満載となります。大泣きしてしまいそうなエピソードもあります。

旨味

—障害のある子と暮らす“コク”のある生活—

マザーズ・ジャケッツ編

Sブランニング ☎ 03-3766-1636 1,050円（税込）

第4部は学校の中で起こるいろいろなことについてです。共に学ぶ子どもたちの柔軟さや想像力に脱帽させられると同時に、疑問符がたつぷり付いてしまう「福祉教育」の現状に目を留める必要を感じてしまいます。最後に、卒業後のこととして、親であれば誰もが心に抱く思いのほかに、外見ではわからない障害を持ち、転職をくり返さざるを得ない男性の苦しきも綴られています。

障害のある子どもがいることで、毎日が“旨味”で溢れている、と言えるようになった先輩のお母さんたちと一緒に“コク”のある生活を目指してみようという方はぜひ手にとってみてください。

（袖山啓子）

読 ん で み よ う